



さてさて、今年も「トラ年」生まれの方から年賀状が届きました。みなさんといつしよに拝見しましょう。

# 今年

今年はボクの年です。どうぞよろしくお祈りします。



### 自我を振り返り 足下を固めよう



八島敏郎さん (向日台)

市民のみならず、あけましておめでとございませぬ。はやくも三回目のまわり年を迎えましたが、年月の経過の早いのに驚いていま

年頭にあたって、筆をすて去って実につきたいと念じているのですが、どういふ結果に終わることでしょう。昨年一月一日付朝日新

学するにつれて、年輪を重ねていくことを痛感し、本年は、昨年から嵐が吹きやまず、公害、物資の不足、インフレなどと不安

になりそうである。「寅年」としては、いやむしろ太平洋戦争以上に地球上を覆いつくし、その対応に血まなこにならざるを得ない現状

こそ、自我をもう一度振り返り、足下を固めなければなりません。

白牛白檀を生ず、のたともありますとおり、またさうならなければならぬ



### 謙虚な気持ちで プロに徹したい



土谷好子さん (上植野町)

窓の外は、しらすらと明けかけている。あちやちやの放送局の深夜放送に夢中になって、気がついたら、一晩をあかしてしまっ

ていた。なんと短い時間であったろう。人は中学生や高校生でもあるまいしと突うかも知れない。しかし、今のわたしにとって、それ

は、とつてもたいせつなこと。大学を卒業して、かねてからの念願だったおしゃべりタレントとしてスタート

し、もうすぐ一年となる。ラジオでレギュラーを何本かもてるようになった。大きなホールで司会もできる

ようになった。とつても楽しかった一年。そして、つても苦しかった一年。

最初は、女の子のやること、こんなこと誰だって慣れたらできるだろうと、遊び半分からの出発だった。確かに、外から見たら、は

られた運命をよく生きることも、人はたいせつである

と思ひます。新年にあたって、その抱負というより、謙感となり

ました。この一年が幸多きことを祈っています。

昭和二十五年から二十四年間、豊かな経済社会に育

つたわたくしにとって、今年はずいぶんな面で、よい経験ができたような気が

する。試練というべきかもしれない。この経験を、より幅広い人格形

# 年で

### 幅広い人格形 成の踏み台に



永井好和さん (上植野町)

情報化社会といわれ、情報という無形のものすら商品となる現在である。しかし、生活の基盤となる物

質がそろって、初めて可能な社会かと思ふ。万能ともいわれる電算機も、電力がなければ動作不能、しかも

定常的な供給が必要である。昭和二十五年から二十四

年、乗り進んできた。とどろ。なんてかわいごと

とだろう。いろんなことを知らねばならない。

今年、あせらず、じっくり、謙虚な気持ちで、一つづつこなしてい

たい。もうアマチュアではない。プロなんだ。

で、おもしろい世界だ。た。しかし、甘くはな

成の踏み台としたい。わたくしたちの年代の者は、戦後日本の再興とも

に成長し、豊かな物質文化の中で生活してきた。欲しいものは、何でもさうか

に見る世の中だった。昨年の石油危機は、その生活にクサビを打ち込む形とな

った。衣食住全般にわたる影響を受ける構造になって

いたから、よけいに持たざる国日本が、目につくのか

もしれない。情報化社会といわれ、情報という無形のものすら商品となる現在である。しかし、生活の基盤となる物

質がそろって、初めて可能な社会かと思ふ。万能ともいわれる電算機も、電力がなければ動作不能、しかも

定常的な供給が必要である。昭和二十五年から二十四年、乗り進んできた。とどろ。なんてかわいごと

とだろう。いろんなことを知らねばならない。

今年、あせらず、じっくり、謙虚な気持ちで、一つづつこなしてい

たい。もうアマチュアではない。プロなんだ。

で、おもしろい世界だ。た。しかし、甘くはな

る。情報化社会もまだまだ未熟。情報産業に生きる、こ

れまた未熟な者として、今年一年は、反省の年とした

い。真の豊さを、自らの手でつくりだすための基礎工

事を、ここにスタートさせたい。

つぎの時は、その豊さについて、何か示唆するものがあると思う。(この詩を覚えてくださった方に感謝いたします。)

「時は春、日は朝、朝は七時、片岡に露みちて、揚雲雀

なのりいで、蝸牛枝に這ひ、神、そらに知るしめす。すべて世は事な

く。(海潮音より)

「里」と、また「一夜のうち千里いって、千里を知る」という。この行動力の広さ

これ以外にない。自分の職業をおし、より多く歩こう。そこで一つでも多く知り、賢くなつて、「自分さえよ

ければ」また「自分だけは別」という利己的な傾向を捨て、全体の中でモラルを

知り、歩きえた知識をもって、よいことは、ただちに実行に移そう。社会の悪には敢然と立ち上がり、善にはのどを鳴らして身をすりよせる、正義の質となる

新しい年明けです。わた

ら古くは餅を用いたよう

ですが、今では子どもさん

やお金や品物に限って使

われるようになりました。

◆三が日……三が日とい

うのは、元日、二日、三日

のこと、二日正月、三日正

月などといつて、各家庭

でもこの三日間は、毎朝お

ぞうに食べて祝います。

陰曆の月名で、一月のこ

待……この

◆来客の接

待……この

待……この

待……この

待……この

待……この

待……この

待……この

待……この

待……この

待……この

### 広報のしおり (1月)



◆おとそ……おとそは、中国から伝えられた菓酒で三國志で有名な関羽や張飛が活躍した三國時代の名匠華佗が、年間厄除(やくよけ)のために、さんしょ、にっけ、ききょうなど、十数種の薬草を配合し、酒に浸して飲んだのが始まりとされています。薬草という意味は、邪気を除(はら)い、魂を蘇(よみが)えらせるということから名づけられたといわれていますが、わが国に伝えられたのは、平安時代の初めです。もう千年以上も前のことです。

◆お年玉……新年の贈り物のことを「年玉」といって、お祝いの心をこめたい贈り物という意味か

◆後始末……いただいた年賀状のうれしさを忘れな

いように、大事にしまつておくのはいいことですが、このつぎに手紙をだすときのために、住所録に控えて後始末をしておきましょう

◆年始の急患診療のお問い合わせ  
乙訓医師会では、昨年に引き続き、一月一日から三日間、新年当直診療を実施します。  
新年の急患は、つぎの医院で受付けていますから、ご注意ください。なお、往診はできませんから、ご了承ください。

◆診療時間  
午前10時～正午、午後一時～六時  
◆内科系  
▲尾崎医院(長岡京市) 電話九二一五二八二番  
▲神足片部(二六) 電話九二一五二八二番